



## 編集雑記

## 既刊案内

(特集・主要記事)

### [8月号]

◎[シリーズ 次代を担う衛生・環境工学者 NO.93]大阪大学大学院工学研究科環境エネルギー工学専攻 准教授 井上大介氏を訪ねて 下水汚泥によるバイオプラスチック生産～「捕食性細菌」の環境利用の探索 微生物がもつ様々な可能性の探求・開拓…水道ネットワーク通信・有村源介 ◎[トピックス]地域の守り手として命の水を届ける 全管連 鳥根で総会・全国大会…月刊コア編集部 ◎建築物リフォーム・リニューアル調査報告 (概要)(令和5年度第3四半期受注分)…国土交通省 ◎[令和6年版水循環白書]をとりまとめました～健全な水循環における上下水道の役割を特集～内閣官房 ◎[省エネルギー・非化石エネルギー転換技術戦略2024]を策定しました…経済産業省 ◎環境産業の市場規模・雇用規模等に関する報告書の公表について…環境省 ◎第六次環境基本計画の閣議決定について…環境省 ◎[省エネ・地域パートナーシップ]を立ち上げ、地域金融機関等と連携し、中小企業等の省エネ取組を支援します…経済産業省 ◎[TOKYOデザインマンホールデジタルラリー]の開催等について…東京都産業労働局 ◎[明日への道標]The Great Wave—葛飾北斎 浮世を活写一…(株)日本設備工業新聞社 代表取締役社長 高倉克也 ◎[東京見て歩き(127)]東京近辺の和光、朝霞の陸軍士官学校の跡地を歩く…(一社)スマート水道推進協会会長・(株)日本設備工業新聞社顧問 坂本弘道 ◎[特別連載]平成を偲ぶパロディ狂歌集(64)一平成一人百首 食4(全7首)…弁護士 野平大魚 ◎建築着工統計[2024年5月]…国土交通省

### [9月号]

◎[シリーズ 次代を担う衛生・環境工学者 NO.94]北里大学医療衛生学部 保健衛生学科 環境衛生学 大学院医療系研究科 環境医学科学群 環境衛生学 准教授 古川隼士氏を訪ねてパルス電界による微生物の不活化に取り組み…水道ネットワーク通信・有村源介 ◎[木造住宅の安全確保方策マニュアル]の公表…国土交通省 ◎雇用政策研究会報告書の公表について…厚生労働省 ◎住宅選択にあたり「希望順位が最も高かった住宅の種類、妥協したもの」などについて新たに調査しました…国土交通省 ◎公共建築物におけるZEB事例集をとりまとめ…国土交通省 ◎[すこしの断熱リフォームであったか生活]…国土交通省 ◎子ども向けの防災学習ポータルサイトを新たに公開～防災教育ポータルをリニューアル！…国土交通省 ◎[インフラ経営の実践によるストック効果の分析のためのガイダンス]を策定…国土交通省 ◎令和5年度技術検定結果について…国土交通省 ◎全日本中学生 水の作文コンクール受賞作品が決定！…国土交通省 ◎[浸水被害軽減に向けた地下空間活用のあり方]に関する提言をとりまとめました…厚生労働省 ◎木造住宅の地震後の安全チェック方法作成しました！…国土交通省 ◎上下水道地震対策検討委員会 中間とりまとめを公表します…国土交通省 ◎令和6年度 地域課題解決型空き家活用支援事業の事業者を募集します！…東京都 ◎令和6年度 瀬戸内海環境保全推進ポスターの決定について…環境省 ◎令和6年度は162の自治体・45の企業等で実証実験…国土交通省 ◎[トピックス]石川で能登地方復興へ結束 全管連 青年部 次世代のリーダー育成…月刊コア編集部 ◎[記者会見]全管連との災害協定推進 管機連 大数淳一新会長が方向性示す…月刊コア編集部 ◎[明日への道標]我は世界の破壊者なり—オッペンハイマーと原子爆弾—…(株)日本設備工業新聞社 代表取締役社長 高倉克也 ◎[東京見て歩き(128)]明治神宮外苑と聖徳絵画記念館…(一社)スマート水道推進協会会長・(株)日本設備工業新聞社顧問 坂本弘道 ◎[特別連載]平成を偲ぶパロディ狂歌集(65)一平成一人百首 食5(全7首)…弁護士 野平大魚 ◎建築着工統計[2024年6月]…国土交通省 ◎エッセイ 新田純子

気候変動の影響で秋が短くなっている。読書の秋という言葉も忘れ去られようとしているのかもしれない。文化庁の国語に関する世論調査によると1カ月に1冊も本を読まない人が6割強に達した。要因はスマートフォンやSNSの利用に時間をとられて読書離れが加速しているという。

その一方で「仕事や勉強が忙しくて読む時間がない」も約4割を占めている。文芸評論家の三宅香帆はベストセラーになった『なぜ働いていると本が読めなくなるのか』で「自分に関係ない情報をノイズとして感じてしまう社会になっている」と危惧している。小説を読んでも直接の利益にはならない。無用な情報はあらかじめ排除される。

読書の秋は「燈火親しむべし」という古代中国の漢詩の一節から派生した。秋は涼しく長い夜の明かりのもとで書物を読むのにふさわしい季節と解釈されている。夏目漱石が長編小説『三四郎』で引用して世間に知られるようになった。文化の日の11月3日を中心に10月27日から11月9日の2週間は読書週間と位置づけられている。

情報通信技術が高度に発達した時代は何よりも速く便利で効率のよいことが重視される。読書にそんな効用はない。車にたとえるならアクセルではなくブレーキだとわたしは思う。わたし個人の知識や発想などたかが知れている。だから本を読んで先人たちの智慧を学ぶ。未知の世界に想いを馳せる。三宅が「読書は他人の声を聞くこと」と語っているように沈黙の対話は過去から未来へとつながる想像力の翼を広げていく。(高倉)

給排水・衛生・環境設備の総合誌

月刊「コア」第419号

令和6年10月10日発行 定価1,000円(税別)

発行編集人 高倉克也

印刷所 (株)日本設備工業新聞社出版事業部

発行所 〒150-0031東京都渋谷区桜丘町10-13

(野元第1ビル)(株)日本設備工業新聞社

TEL (03) 3496-4774(代)

FAX (03) 3464-1884